



TAIHEIYO CEMENT NEWS LETTER

2023年8月8日

タイハイヨウセメントフィリピンズ株式会社による ルソン島でのセメントターミナル新設について

太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：不死原正文 以下、当社）は、連結子会社であるタイハイヨウセメントフィリピンズ株式会社（本社：フィリピン共和国セブ州、以下、TCPI 社）によるフィリピン国内で最大のセメント消費地であるルソン島でのセメントターミナル新設を決定しました。

フィリピンでは好調な経済成長に伴う建設投資の増加等により、セメント需要は堅調に推移しております。2015年から2019年までの5年間で年間セメント需要は約30%増加し、3,200万トンに達したと推定されます。2020年のセメント需要は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により一時的な縮小が見られますが、2023年のGDP成長率は5.6%^{*1}と予想され、政府の大規模インフラ投資計画「ビルド・ベター・モア」等により、セメント需要は再び上昇に転じると見込まれます。

TCPI 社では、フィリピン市場におけるプレゼンスの更なる向上を図るべく、2030年以降における年間販売量500万トンおよび販売シェア10%の達成を目標に掲げております。現在、世界的にも最先端の技術を導入するセメント生産ラインの更新工事を行っており、2024年5月からの商業運転開始後のセメント生産能力は年間300万トンへと増強されます。この取り組みに続けて、この度、同社の目標達成に向けた歩みを加速するべく、ルソン島南部バタンガス州カラカ地区にセメントターミナルを新設いたします。

当該ターミナルの新設により、フィリピン国内で最大のセメント消費地であるルソン島向けに年間70万トンのセメントを供給することが可能となります。同地区には、近年需要の高まりを見せている混合セメントを積極的に輸送し販売する計画としており、当該ターミナルの活用が進むことで当社グループとしてCO₂排出原単位の削減も期待できます。あわせて、ターミナル新設を契機に、フィリピン事業の将来を見据えた海上物流体制の強化も検討しており、総投資額としては100億円程度を見込んでおります。

当社グループは「カーボンニュートラル戦略2050」を掲げ、2050年にサプライチェーン全体でのカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを進めております。引き続きグループの総合力を発揮し、経済の発展のみならず環境負荷の低減に積極的に注力することで、環太平洋において社会に安全と安心を提供する企業集団を目指します。

<TCPI 社の概要>

名称	タイハイヨウセメントフィリピンズ株式会社
所在地	フィリピン共和国 セブ州 サンフェルナンド町
代表者の役職・氏名	取締役社長 伊沢 良仁
事業内容	セメント製造および販売
資本金	13,569百万フィリピンペソ
出資構成	当社 100%

<新設するセメントターミナルの概要>

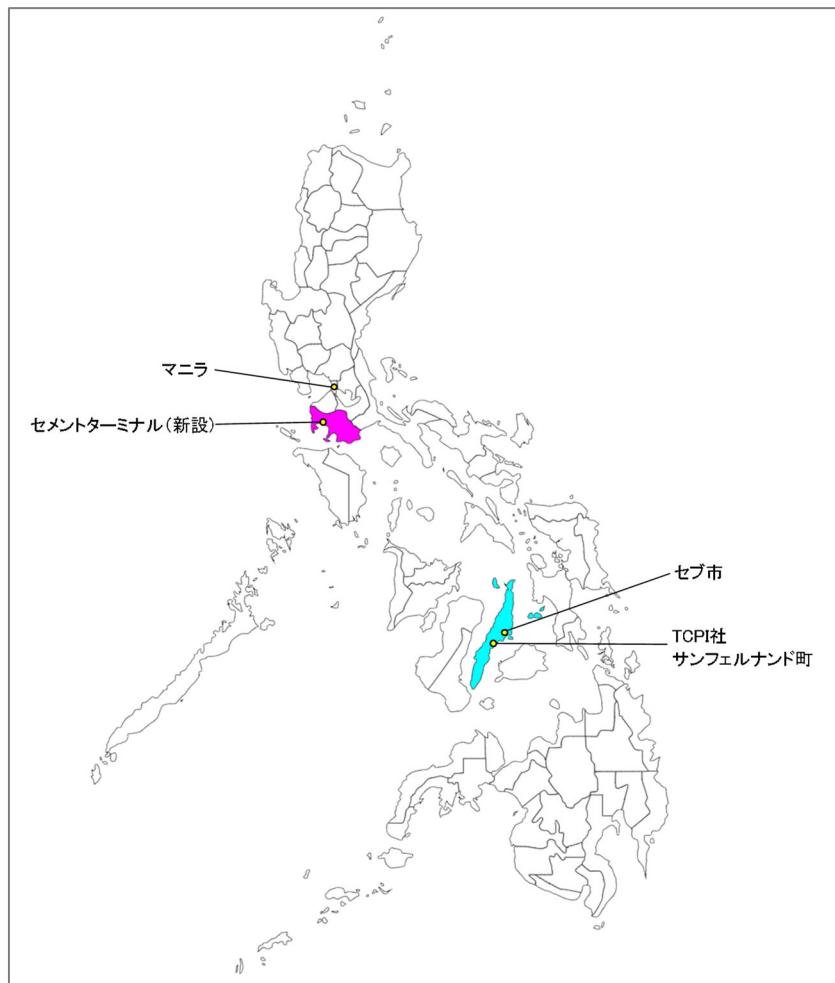
所在地	フィリピン共和国 バタンガス州 カラカ地区
サイロ容量	25,000 トン×1 基 および 15,000 トン×1 基
稼働予定	2026 年 1 月
総投資額	約 100 億円

<フィリピンのセメント需要※2>

(千トン)

2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
31,000	32,000	29,000	30,000	31,000

<TCPI 社と新設するセメントターミナルの位置図>



※1：世界銀行「WORLD BANK EAST ASIA AND PACIFIC ECONOMIC UPDATE APRIL 2023」

※2：TCPI 社推定値

【関連ニュースリリース】

- ・タイハイヨウセメントフィリピンズ株式会社における最新鋭の生産ラインへの更新による生産能力増強について

https://www.taiheiyo-cement.co.jp/news/news/pdf/201110_4.pdf

<本件に関するお問い合わせ先>

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ

TEL. 03-5801-0334 FAX. 03-5801-0344

e-mail. ir-com@taiheiyo-cement.co.jp

太平洋セメント株式会社

〒112-8503 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデンゲートタワー